松元中学校だより

令　和　５　年
４月２８日発行

「人間は考える葦（あし）である」

校長　木原　敏行

この言葉、耳にしたことがある人も多いのではないかと思います。“葦”とは、水辺に育つ細い草のようなイネ科の植物で高さ2～3mにもなります。

「人間は考える葦である」とは、17世紀のフランスの哲学者パスカルが残した言葉で、「人間は、自然のうちで最も弱い一本の葦にすぎない。しかしそれは考える葦である」として、人間の、自然の中における存在としてのか弱さと、思考する存在としての偉大さを言い表したもの。（引用〈小学館 デジタル大辞泉〉）という意味です。また、この言葉に関連し、「人間の尊厳は思考の中にあり、よく考えることが大切だ」と述べています。

人は、物事をよく考えて、そして、一生懸命に考えて出した答えが、その人の人格を表すことがあると思います。このことは、生きていく上で、人と関わりをもつ中で、自分も他人も、少し大袈裟に言えば、この世の中全体をよりよくする力をもっているということにも繋がっていきます。人間が単なる葦のような存在ではないことの証にもなるのです。AI（人工知能）の力で人々の生活はよりよくなりつつあります。AIは学習したいろいろな情報からより適切な情報を選択し組み合わせ、人々が求めているであろう正解（に近いもの）を返そうとします。しかし、それを利用し何かを手助けしてもらうのはよいとしても、AIに頼りすぎて人間が本来もっている「考える」力というものを自ら放棄してしまっては、自分自身の成長は望めません。

誰かが困っている、どうすればいい？と自分の頭で考える。下り坂を自転車で走行中、こがなくてもスピードが出る、路面が濡れている・落ち葉が積んでいる、どんな走りをすればいいか考える。どうしても解けない問題がある、さて、自分の力をより高めるにはどう対応すべきか考える。登校時間がいつもギリギリになってしまう、その理由は何か、どうすれば余裕をもって登校できるか考える。

自分を高める、人に嫌な思いをさせない、友人を支える、反省すべきは反省する、改めるべきは改める、効率よく仕事をする、自分の責任・役割を果たす、周りの人々や与えられたものに感謝する。そして、みんなを幸せにする。よりよく生きるために、何事も精一杯考えて、「考える葦」になりたいものです。

【５月行事予定】

２日（火）ＰＴＡ常任委員会
　　３年実力テスト
８日（月）市スクールカウンセラー来校
９日（火）3年全国学力・学習状況調査（英語「話すこと」調査
　　市スクールソーシャルワーカー来校
10日（水）歯科検診（１－１～１－５）
11日（木）学年朝会
13日（土）土曜授業　生徒総会
15日（月）２年修学旅行～17日
　　市スクールカウンセラーラー来校
16日（火）１年集団宿泊学習～17日
　　３年職場体験学習～18日
18日（木）１・２年休養措置日
19日（金）歯科検診（１－６・７、２－１・２）
　　県スクールカウンセラー来校
22日（月）教育実習～６／９
　　市スクールカウンセラー来校
　　歯科検診（２－３～２－６、３－１）
23日（火）学級専門部会・学校専門委員会
　　１年心臓検診
24日（水）眼科検診
25日（木）１年耳鼻科検診
　　３年上級学校説明会（公立）
26日（金）内科検診（１－１～１－４）
　　３年上級学校説明会（私立）
　　自転車点検週間～６／２
29日（月）市スクールカウンセラー来校
30日（火）生徒朝会
　　市スクールソーシャルワーカー来校
　　歯科検診（３－２～３－６）
　　教育相談～６／５

第77回入学式

令和５年度の入学式を４月６日に挙行しました。今年は新入生とその保護者のみで行いました。259名の新入生は元気よく、期待に胸を膨らませながら式に臨みました。この松元中学校でそれぞれの個性を発揮しながら，更に成長してほしいと思います。２・３年生を代表して松元海樹さんが述べた「歓迎のことば」を紹介します。

ＰＴＡ会長からの祝辞

桜の花びらが舞い散り、春爛漫のこの良き日に歴史と伝統がある松元中学校に入学される新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。私たち在校生はみなさんが入学されるのを心待ちにしておりました。

新しい中学校生活に期待に胸を膨らませていらっしゃると思いますが、同時にやっていけるか、不安を感じている人もいるのではないでしょうか。実は私もちょうど一年前、同じように中学校に入学するにあたり、様々な思いにかられたことが思い出されました。

中学校と小学校の違いはたくさんあります。小学校は45分授業だった授業時間が、中学校では50分になります。中学校は授業のスピードも速く、宿題の量も増えますが、専門的な知識を多く得られるチャンスでもあります。また、チャイムが鳴らないので、自分たちで時計を見て行動しなければなりません。これに加え、教科ごとに担当の先生がいらっしゃいます。教室の移動も多くなりますが、その分、多くの先生方と接することができ、担任の先生方だけでなく様々な先生に相談や質問をすることができるのは、中学校のとても良い点です。

部活動は体育系、文化系あわせて16部あります。部活動は熱心に取り組んでおり、多くの部が九州大会や全国大会に出場しています。また、生徒会活動とともに、体育大会、学習発表会（本校はこれを松友戦、松友発表会と呼んでいます。）、このような大きな学校行事も自分たちで企画・運営を行います。自分たちで計画を立てた行事でクラスが一致団結してまとまり、成功した時の感動は計り知れないものがあります。

しばらくしても、まだまだ分からないことが多いかと思いますが、困った時は私たち２・３年生を頼ってください。私たちはみなさんが充実した学校生活が送れるように精一杯サポートしていきます。

最後に、新しい生活を始める時にふさわしい俳句を一つ紹介します。それは「春行くや　心一つの置き所」です。春は気持ちの持ち方で自分自身を大きく成長させることができるという意味です。松元中学校は新入生が輝ける場所がたくさんあります。みなさん、一緒にがんばりましょう。

在校生代表　松元海樹

連休及びその前後の過ごし方について

４月下旬から５月初旬の期間は、学校生活にも慣れ、連休が続くという開放的な気分などから、生活リズムが乱れがちになります。新年度スタートから１か月は、生徒本人はもちろん、ご家族の皆様も気配りが多かったのではないかと思いますが、特に、携帯端末やゲーム機などの利用や使用の仕方については、家庭内でルールを設定するなど、親子での語らいの機会を持っていただきますようお願いします。

また、一方で、新しい環境に十分に適応しきれずに、連休後、心身が不安定になりやすい時期でもあります。ご家庭でも見守りと温かい励ましの声かけをよろしくお願いします。

生徒のみなさんの悩み相談やいじめの目撃情報など、人に言えないつらいことや苦しいこと、誰かに聞いてほしいけれど面と向かって人には言えないこと、学校に心配な人がいて助けてあげたいけれど、自分から直接学校の先生には伝えにくいときなど、些細なことでも利用することができるいろいろな相談窓口がありますので紹介します。

- ○　24時間子供SOSダイヤル・・・・・・・・・0120−0−78310（なやみいおう）
- ○　児童相談所全国共通ダイヤル・・・・・・189（いちはやく）
- ○　子どもの人権110番・・・・・・・・・・・・・・0120−007−110